

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	02総務費
施策	02観光を振興する	項	01総務管理費
期間	平成9年度～永年	目	27ウェルネス費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	060ウォーキングセンター等管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市ウォーキングセンターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	健康意識の高まりによりウォーカーの人口が増加傾向にあるなか、ウォーキングコースに隣接し、自然豊かな環境に位置する本施設を活動拠点にする利用者は多い。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民及び利用者	施設を適正に維持管理するとともに、施設を通じて身近な地域を散策し、自然への関心と理解を深める。	自然とのふれあいを通じて自然への関心と理解を深め、自然環境の保全と歴史や文化に関する学習の促進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		5,542	5,542		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設利用者の満足度は高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	5,542	内訳	国費	県費	市債	他	一般	5,542
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	ツーデーマーチ事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	02総務費
施策	02観光を振興する	項	01総務管理費
期間	平成2年度～永年	目	27ウェルネス費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	005ツーデーマーチ事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	平成25年度加古川ツーデーマーチ実行委員会運営補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	平成21年の内閣府調査では、ウォーキング人口が4千万人を超え、平成23年には日本ウォーキング協会(旧歩け歩け協会)主催大会が130以上開催された。本大会の参加者数は、平成9年度に開催した第8回大会にピーク(21,859人)を迎え、直近5年間では8千人~1万人で推移。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民及び利用者	市内及び近隣町を2日間に渡り歩くウォーキングイベント「加古川ツーデーマーチ」を企画・運営する加古川ツーデーマーチ実行委員会に対して補助金を交付する。	①全国のウォーカーと地域とのふれあいを通じて、にぎわいの創出や交流の拡大を目指す。②自然や歴史資源の再発見により市民のふるさと意識の醸成を図る。③イベント開催によるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,935	268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
参加者数	人	10,095	8,275	9,006	12,000	
実行委員会収支予算額	円		29,580,000	28,230,000		

活動指標分析結果	参加者数は、平成9年度をピークに減少しているものの、直近5年間では一定の水準を維持している。実行委員会収支予算額は、市補助金及び協賛金収入の減等ともない減少傾向にある。
----------	--

事業費	千円	12,000	11,000	10,000		
-----	----	--------	--------	--------	--	--

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内在住の申込者数	人		4,200	4,200	5,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		4,135	3,237	3,271		
市外在住の申込者数	人		2,800	2,700	3,200	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		2,721	2,523	2,310		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	市内在住の申込者数は意図②・③を測る指標。平成9年度をピークに減少しているが、20年度以降はやや増加傾向。市外在住の申込者数は意図①を測る指標。平成9年度をピークに減少しているものの、直近5年間では一定の水準を維持。なお、平成24年度は2日目が悪天のため申込者が大幅減となった。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 観光資源を有効に活用し、交流の拡大や市民のふるさと意識の醸成を図るための手段として、当該事業の存在意義は大きい。そのため補助により大会を維持していくべきと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	10,000	内訳	国費	県費	市債	他	一般	10,000
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	観光行政に要する一般的経費		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	～ 永年	目	03観光費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005観光行政に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	今後、人口の減少が予想されており、加古川市の賑わいを発展させていくためには、市外との交流人口を増やしていく必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
観光客	加古川観光ガイドパンフレットや「わがまち加古川60選」冊子の作成・配付や、日岡山公園ぼんぼり設置事業を実施する。	加古川市の魅力を市内外に発信し、観光振興を推進することを目的とする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		3,752	4,040		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
観光パンフレットの作成・配付により、観光振興を推進できており、一定の成果は得ていると考える。

※事業費と財源内訳

決算額	4,040	内訳	国費	県費	市債	他	1,380	一般	2,660
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	観光施設維持補修事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	～ 永年	目	03観光費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020観光施設維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	経年劣化の看板が増加し、修繕が必要になってきている。
-------	----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
観光施設3箇所(高御位山登山道・便所、平荘湖公衆便所、城山登山道)及び観光看板	高御位山登山道、城山登山道、平荘湖トイレについては、地域の財産として大切にしている地元町内会の協力を得て、きめ細やかな維持管理を行う。また、観光地へのルート案内の役割を果たす観光看板の維持管理を行うことにより、観光客の利便性を向上させる。	観光施設を維持・整備していくことにより、観光客の誘客の向上を図りたい。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,374	1,548		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
観光施設の管理を町内会に委託することで、きめ細やかな維持管理が可能となり、観光客の集客および満足度の向上に繋がっていると考えられるが、観光看板については、老朽化に伴い、維持補修費用が膨らんでくると考えられる。

※事業費と財源内訳

決算額	1,548	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,548
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	分室事務所維持補修事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	平成18年度～永年	目	03観光費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	005観光行政に要する一般的経費
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成26年度に観光課が新設されたため、観光課単独事務所となる。
-------	---------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)			
観光課事務所	観光課事務所の清掃及び警備業務・自動ドアの点検業務等を委託する。	観光課事務所の維持補修を実施する。			
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外					
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外					
事業費	千円		9,465	9,866	
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
一定の成果は得ていると考えられる。

※事業費と財源内訳

決算額	9,866	内訳	国費	県費	市債	他	一般	9,866
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川観光協会運営事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	平成17年度～永年	目	03観光費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005観光行政に要する一般的経費
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	加古川観光協会の運営負担金として、加古川市と加古川商工会議所から負担金を交付している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川観光協会	観光事業を展開している加古川観光協会に対して負担金及び補助金を交付する。	加古川の魅力を高め、観光によるまちづくりに貢献し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちを創出することを目的とする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川観光協会	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川観光協会	団体		1	1	1	平成27年度
活動指標分析結果	妥当であると考えられる。					
事業費	千円		3,000	3,000		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
観光客入込数(兵庫県観光客動態調査:観光客17地点) 上段:計画値/下段:実績値	名		1,885,662	2,258,000	2,559,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	加古川の名物かつめしのPR事業をはじめ、観光PRイベント等を数多く実施し、一定の成果を得ていると考えられる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 一定の成果を得ており、事業としては妥当なものと考えられる。

※事業費と財源内訳

決算額	3,000	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,000
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川菊花展等運営補助事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	～ 永年	目	03観光費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005観光行政に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成19年度から加古川菊花展等補助金として、商工労政課から直接「加薫会」及び「加古川ばら会」に補助している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加薫会及び加古川ばら会	菊花展、ばら展をそれぞれ主催している「加薫会」及び「加古川ばら会」に加古川菊花展等運営補助金を交付している。	ばら及び菊作りを通じて、美しい自然と明るい郷土を創造するとともに、市民の豊かな心を養うことを目的とするが、同時に市内外から集客を見込める展覧会としたい。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加薫会	団体		1	1		
加古川ばら会	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川菊花展開催数	回		1	1		
加古川ばら展開催数	回		1	1		
活動指標分析結果	開催数については、花の見頃等が影響するので妥当なものと考えられる。					
事業費	千円		1,630	1,606		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
菊花展来場者数	名			2,500	2,500	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			2,000	2,000		
ばら展来場者数	名			2,600	3,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			2,546	2,414		
成果指標分析結果	参加者数も以前より増加しており、妥当なものと考えられる。今後は、産業振興の観点から開催場所をより中心市街地等に近くできないかを検討する必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
参加者数も以前より増加しており、成果は妥当なものと考えられる。今後は、産業振興の観点から開催場所をより中心市街地等に近くできないかを検討する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,606	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,606
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川まつり地域協賛事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	～ 永年	目	03観光費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	010加古川まつり事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成16年度から市の主催事業から協賛事業に変更することにより、自主的に計画・実施する要素が拡大し、それぞれの地域の独自性を活かした「おまつり広場」が開催されている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
町内会連合会単位で形成する「おまつり広場実行委員会」(合同開催も可)及びハモリing&ゆずっこコンテスト実行委員会	各実行委員会に補助金として支払い、おまつり広場運営の補助を行う。	各地域の自主性・独自性を活かしたまつりを開催することにより、地域住民の連帯と世代間交流を図ることを目的とする。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,935	268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川まつり地域協賛会場数	会場	21	21	21		

活動指標分析結果	基本的には連合町内会単位で開催されており、妥当なものと考えられる。			
事業費	千円	8,600	8,900	9,100

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川まつり地域協賛事業参加者数	人		110,000	120,000	110,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		108,155	106,700	100,150		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	加古川市人口の約4割の市民が参加しており、妥当なものと考えられる。
----------	-----------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合が考えられる(市役所以外の他団体の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各地域の自主性・独自性を活かしたまつりを開催することを目的に実施されており、市の関与は妥当であると思われるため、おおむね現状のままで差し支えないと考えられる。

※事業費と財源内訳

決算額	9,100	内訳	国費	県費	市債	他	一般	9,100
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	緊急雇用対策加古川魅力発信事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	平成22年度～平成24年度	目	03観光費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	035緊急雇用対策加古川魅力発信事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	今後、人口の減少が予想されており、加古川市の賑わいを発展させていくためには、市外との交流人口を増やしていく必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
失業者	SNSを活用した観光PR、観光パンフレットの作成、産業観光バスツアーの実施。	加古川市の様々な歴史、文化、自然、産業等の観光資源を発掘、開発、活用することによって、市民のふるさと意識の醸成とまちの賑わいを創出することを目的とする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
産業観光バスツアー開催数	回		2	2		
観光パンフレットの作成	回		1	0		
活動指標分析結果	妥当なものと考えられる。					
事業費	千円		5,000	5,000		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
産業観光バスツアー参加者数	名		59	66	59	平成25年度
観光パンフレット作成部数	部		10,000	0	10,000	平成25年度
成果指標分析結果	市内の製造業において、見学・体験を通じて加古川を再発見することで観光振興につながり、また、パンフレット等でも十分にPRできていると考えられる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 一定の成果を得ており、事業完了とする。

※事業費と財源内訳

決算額	5,000	内訳	国費	県費	5,000	市債		他		一般
-----	-------	----	----	----	-------	----	--	---	--	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川まつり開催事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	観光課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	03商業・観光を振興する	款	07商工費
施策	02観光を振興する	項	01商工費
期間	～ 永年	目	03観光費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	010加古川まつり事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市民総ぐるみで夏の風物詩を楽しみ、地域住民の連帯意識の向上とふるさと意識の高揚を図る。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民	毎年8月の第1日曜日に花火大会を開催し、前日の土曜日を基本として、各地域で「おまつり広場」等のイベントを開催している。	市民総ぐるみで夏の風物詩を楽しみ、地域住民の連帯意識の向上とふるさと意識の高揚を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川まつり行事数	つ		24	24		

活動指標分析結果	花火大会及びおまつり広場を主として、市内全域で行事が開催されており、市民の夏の風物詩となっていると考えられる。		
事業費	千円	56,000	66,259

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川まつり参加者数	名			190,000	200,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			186,100	179,250		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	加古川市の全人口の6割を超える市民が参加し、市民総ぐるみで夏の風物詩を楽しみ、地域住民の連帯とふるさと意識の高揚に寄与しており、一定の成果を得ていると考えられる。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要はない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
参加者数からは一定の成果を得ていると考えられるが、花火大会については、年々膨らんでいく警備費用をいかに抑えて安全を確保していくかが課題である。	

※事業費と財源内訳

決算額	66,259	内訳	国費	県費	市債	他	一般	66,259
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------